

Q&A

潰瘍性大腸炎術後の全身関節痛

【問 題】

症例：20歳代，女性。

主訴：全身の関節痛（特に胸骨痛，両股関節痛）。

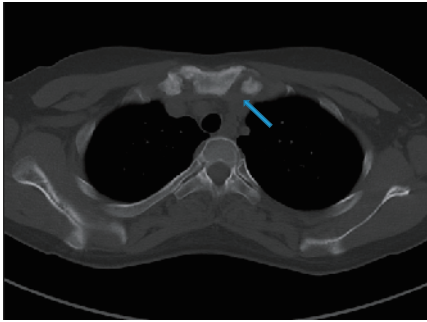
既往歴：潰瘍性大腸炎。

生活歴：特記事項なし。

家族歴：特記事項なし。

現病歴：11歳時に潰瘍性大腸炎と診断された。14歳時に難治のため大腸全摘・J型回腸囊肛門吻合術を受けた。その後は順調に経過していた。19歳時に顔面に掻痒感をともなう皮疹が出現し，経

【axial】



【coronal】

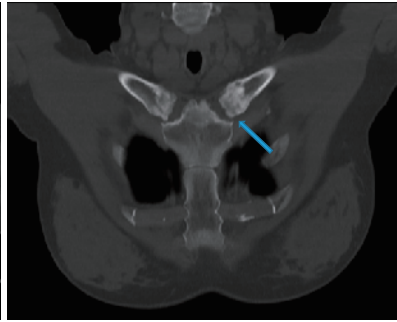
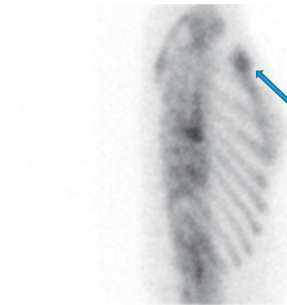


Figure 1. 胸部 CT 所見：両側胸肋関節部の硬化および辺縁の不整を認める（矢印）。



P R-LAT A

Figure 2. Tc-99m 骨シンチグラフィ：胸骨に集積を認める（矢印）。

過中に数回膿疱形成を認めていたが自然軽快していた。26歳時に難治性回腸囊炎の治療のために入院。入院中に膿疱様皮疹，両側股関節，胸骨痛を中心とした全身の関節痛を認めた。

現症：BT 36.5°C。その他 vital sign に異常なし。

胸部所見：胸骨部の疼痛以外は特記すべき所見を認めず。

腹部所見：平坦で軟。回腸囊炎症状も入院後の加療で軽快していた。

手指，顔面，両肘に掻痒性皮疹（3年前より出現）を認めたが，皮膚科受診時に処方されたステロイド軟膏の塗布で軽快傾向であった。

吸気時に増強する鎖骨，胸骨部の疼痛を認めた。

血液検査所見：WBC：12040/ μ l，RBC：448 \times 10⁴/ μ l，Hb：11.5g/dl，Plt：43.8 \times 10⁴/ μ l，TP：7.3g/dl，Alb：3.5g/dl，BUN：8.0mg/dl，Cr：0.46mg/dl，AST：14IU/l，ALT：11IU/l，ALP：262IU/l，CRP：2.10mg/dl，MMP3 528.5ng/ml，RF 8.9IU/ml，抗CCP抗体<0.6U/ml，抗SS-A/Ro抗体陰性，C-ANCA <1.0U/ml，P-ANCA <1.0U/mlと炎症反応の上昇を認めた。

Figure 1に胸部CT検査所見，Figure 2にTc-99m骨シンチグラフィーの所見を示す。

診断は？